

日本の竹ファンクラブ通信

編集・発行 日本竹類総合研究所・特定非営利活動法人日本の竹ファンクラブ
横浜市都筑区中川1-5-19 プロミネンス14-304号 TEL&FAX: 045-306-9993 MAIL: office141@takefan.jp
URL: http://takefan.jp
現在の会員数 正会員 128名/準会員 8名/賛助会員 個人 16名・団体 2・法人 3 (竹取協力隊 110名)

放置竹林活用の新たな潮流！

竹のバイオマスプラスチックと筍の加工で竹林保全

プラスチックごみによる海洋汚染問題に端を発した脱プラスチックの大波は瞬く間に世界を席卷、そんな中で注目を集めているのが植物を原料とするバイオマスプラスチックとしての活用。プラスチック革命で竹林が放置されて50年、今、転機が訪れようとしています。食の分野でも穂先だけのこを活用した「たけのこするめ」や「国産メンマ」づくりが各地で始まり、新たな食材の普及と地域活性化の取組が活発になっていきます。

1. 竹のバイオマス活用

プラスチックごみによる海洋汚染問題に端を発した脱プラスチックの動き、ワタミが6月27日から「和民」「坐・和民」全店でプラスチックストローを廃止。竹の食物繊維を使用した竹製のストローに切り替えるという。桑名市ではNPOの切った竹の間伐材を活用してバイオマスプラスチックとして竹資源の活用を図る活動が開始しました。また、バイオマス活用では竹のバイオマス発電や竹のセルロ

ースナノファイバーの開発、竹チップ、竹繊維を活用した舗装など竹のイノベーションも進んでいます。

2. 食べて竹林整備

一方、たけのこの新たな食材としての普及も活発になってきました。これまでに放置されてきた2〜3mに伸びた穂先筍を使った国産メンマ作りがここ数年各地で行われるようになりました。すでに全国30都府県で取り組みが始まり、7千万円の売り上げを上げるところも出てい

ます。同じ穂先筍でも乾燥した加工食品「筍するめ」も数か所で行われてい

ます。こちらは当ファンクラブも参入、今秋から本格発売が始まります。穂先筍は放置するとすべて竹に成長し、放置竹林拡大の要因となります。この時期に食材として活用、皆伐することで放置竹林の解消だけでなく、地域の活性化にも大きく貢献できます。

3. 竹ファンクラブの取組

竹ファンクラブでは、穂先筍を食す活動では先陣を切っておりましたが、加

工分野では半歩遅れでのスタートとなりました。また、竹のバイオマスプラスチックの活用についても3年前よりその有用性について認識、取り組んでまいりました。この間の急激な環境変化は、竹の間伐を続けてきた市民サイドにも追い風となり、間伐材を活用したバイオマスの活用展開が急速に具現化、放置竹林解消の新たな潮流となる事が期待されます。

理事長 平石 眞司

小机城址支部

天気予報は15時頃までは雨、その後もあり。朝一番で休憩所の屋根を張って降雨に備えたが、午前中はもつたが午後は全員が雨合羽着用の作業でした。

そして最奥北側部エリアの竹穂垣改修のうち残り部分三分の一を施工したが、枝がわずかに足りずに数本の古竹を間伐して調達しました。

悪天候のなかでしたが、昼前にはすべてが終わりその前面の四つ目垣の一部未施工の立子まで用意しました。

昼食後は雨の中、胴縁が一部朽ちていたところと併せて完成させました。奥の両側には9月からの竹灯籠用の竹材としての、間伐前に処理しておきたい積上げ古竹が数か所ある



活動日 6/22 参加者 11名

が、一番手前の部分は小雨程度になったのを見計らってチツパーを稼働して処理しました。終業時には雨もあがり、みなさん余裕を持った動きが見られた達成感のある作業でした。

担当 真板保昌

横浜国際プール支部

梅雨入り前の竹林はいたるところ下草が伸び、ごく細い若竹が出ています。特にサブプール際の竹稈に巻き付くクズのつると奥あずま屋エリアの草は見苦しい状態でした。

枯れ落ちた笹葉で覆われた斜面で滑らないよう注意してクズのつるを根元で切り、草刈りをしました。

あずま屋エリアは刈払機で別動隊が刈りあげ、若竹の伐採は全エリアにわたって実施、



同時に「たけの子するめ」の原料となった穂先筍の残りの下部と前回仕込んだ竹水（チクスイ）と合わせて採取しました。

今年はずら年なのに何となんと！今だからってない多くの量があり皆でおいしくいただきました。天然の竹水を飲んだ後は焼酎の竹水割りをいただき、9月迄2か月有効のちから水としました。

担当 根岸秀行



活動日 6/1 参加者 9名



こどもの国支部

三大有用竹のある園内では4月孟宗竹、5月淡竹の「親竹の選定と密度管理」を行い、6月は真竹です。

総合グラウンド横の真竹林は、毎年秋に地元の小学生が竹の間伐体験を行うフィールドで、枯れ竹が増えていくことから密度を上げるために竹林内の整備は控え、周辺に生えている細い竹や下草刈りと散策路際の筍を刈り取りました。

夏休み前最後の活動日の25日は午前中で、作業を終え午後からは、こどもの国の計らいで提供された場所と用具を借り、反省会をかねた親睦会BBQを行いました。

間伐竹で食材盛付の器などを作り竹カップで乾杯、野菜や肉を焼

きながらマダケとハチクそれぞれで作ったカッポ酒の香りの違いなどを楽しみました。

山梨の猟師を知人もつ会員から猪肉が提供され、ことのほか柔らかく美味な肉に盛り上がりました。

平成から令和に変わったこの半年間、ヒヤリハットもなく安全に活動できたことや、竹の活用アイデアなどを語り、有意義な親睦会となりました。

担当 丹治 薫



活動日 6/1・25 延参加者 25名

中井町支部

6月8日は、例年行っているマダケのたけのこ狩りで14名の皆様にご参加頂きました。企画では、役場前より徒歩で現地に行く予定でしたが、他の参加者のご好意により竹林まで車で移動しました。当日は天候にも恵まれ、例年に無くタケノコの生育が順調で予定では、参加者一人2本でしたが、プラスαで収穫を堪能頂きました。また今年度から始まった「たけの子するめ」の原材料としての確保も、この直前直後に2回の狩り取りをしましたが、どこから採取したの・・とを感じる程の多い出筈でした。

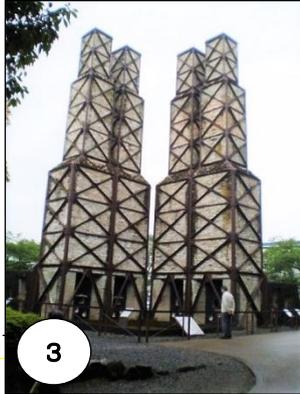
この時の狩り取り後は、毎年ミカン狩りと野菜販売でお世話になっている、上の武井邸



活動日 6/8・13・27 延参加者 34名

をお借りしての一次加工もうまくいきました。今年度の作業活動は、フィールドの中心部より東南方向で、5年程前に再整備を行い今回は2回目の整備を4月より行い、間伐・切倒し残骸処分・運搬・焼却・チップー機処理・等を行っています。尚、当期間は、フィールド内全体の親竹の選定と密度管理を主として、令和生まれの新竹育成作業を行いました。担当石川正壽

伊豆の国市支部



日本の竹ファンクラブの作業フィールドの一つの伊豆半島の入り口にあたる伊豆の国市には、名所旧跡がたくさんあります。韮山町、伊豆長岡町、大仁町が合併した市内には温泉、重要文化財の江川邸、世界遺産に登録された韮山反射炉と盛りだくさんです。日本一の富士山を望む支部のフィールドには、モウソウチク、ハチク、マダケがあります。担当五十川健郎

- ①初めは枯竹の処理から始まった
- ②雨をもろともせずに間伐作業
- ③世界遺産の韮山反射炉

活動日 6/15 雨の為中止

都筑折本



横浜市都筑区の南端、折本農業専用地区の端っこにある都筑折本の作業フィールド。その作業フィールド入口の「いこいの広場」に、Yさんを中心に簡易テント小屋ができました。

休憩時の夏の日差しや冬の寒さよけに活躍するでしょう。

徐々に作業環境も整備されてきました。

2019年7月夏号の理事長の巻頭所感にある竹林に関する教育・研究支援事業の一つで、新規開講予定の「親子体験教室」の一つの三角錐ジャングルジムの試作品もできており、実質的な開講が待たれます。

報告事務局



竹林管理コース

必修講座最後のコースは、城郷小机地区センターで「竹林の管理と育成」を受講、昼からの実習は「若竹の伐採とお礼肥」でした。昼からは、雨がポツポツと降ってきましたが、実習現場の二の丸

には、竹取協力隊の皆さんがテントを張ってくれたので、お昼はゆっくり休めました。

今回は、放置竹林の問題を抱えている神戸市役所の方が参加され、竹林の管理について、学習・体験が参考になれば良いと思います。休憩後は裏年ながら

■講座 NO.3

6月22日(日)

講義：竹林の管理と育成
実習：若竹伐採とお礼肥
講義：城郷小机地区センター
実習：小机城址市民の森
講師：平石眞司
参加者 8名



も、沢山の出筍に感謝してお礼肥を行ない、硫酸20kg入り4袋と化成肥料20kg入り4袋を撒きました。来年の沢山の出筍に期待しています。報告事務局

横浜国際プール

7月27日 土曜日
水鉄砲工作教室

10時より水鉄砲作りが始まる。参加者は小学生14名で1名が欠席。はじめにMY竹筒本体作り。

子供たちはみんな早くのこぎりを使ったくて仕方ない様子。(私たちもちよつと手助け)。そして筒に錐で穴をあけ、筒を完成。次に竹ピストン作り。細い竹棒に、スポンジを巻き糸で縛る、その



上に布をかぶせ、糸でしっかりと結わいて出来上がり(調整にちよつと手こずる)。

屋上にて水鉄砲遊び。みんな、撃つ撃つ、濡れるのがすごく楽しそう。

親御さんもニコニコ。台風6号襲来の前日で、天気心配でしたが、快晴で皆さん十分に楽しんで帰られました。

報告松村栄一



8月10日 土曜日
カタツムリ工作教室

9時45分から開始。小学校1年生から4年生までの10人で、3人兄弟、いとこ同士という組み合わせでの参加者もいました。

ノコギリを使った事のある子は2名でしたが、その他の子供達も、注意深くゆつくりとノコギリを引いて、自分専用のカタツムリの本体を作ります。

約15mm幅の殻の部分4個も自分でノコギリを使って切っています。切った後は、手をケガしないように紙やすりを掛けていきませんが、あまり派手な動きでない為、つまらなさそうにやすり掛けをしている子もいました。さて、本体への殻付けですが、小さい殻から



大きい殻へボンドを付け、魔法の竹粉を掛けて、しばらく置き、先生にドライヤーを掛けてもらいました。カタツムリの全体的な形が見えてきた様子で、ようやく子供たちの笑顔が見えるようになりました。

報告：事務局



第16回小机城址市民の森 「竹灯笼まつり」に参加しましょう!

本年も下記の通り「竹灯笼まつり」を開催します。準備も含め作業日数が非常に多くなっています。出来るだけ多くの方が参加して下さいようお願い致します。

■10月26日(土) 9:00~21:00
(雨天の場合翌27日(日)に順延)

■実行委員会 委員長: 真板保昌
副: 榮 千彰・荻原三男

■前日・当日のスタッフ募集中です(詳細別紙)。お手伝いいただける方は同封の申込書に必要事項を記入の上、事務局までお申込み下さい。
■物販(竹関連品)及び飲食店受付中(会員限定) 出店ご希望の方は、店・品名と提供予定数を、事務局までお申し込み下さい。

発売開始!

◆「たけの子するめ」… ¥540(税込)



ゆっくりと噛めば噛むほどおいしさが増す風味豊かな「たけの子するめ」。お酒のお供や、お子様のおやつ、また、みそ汁やお茶漬けに入れても旨味が増します。

◆「健康まる竹ふみ」… ¥432(税込)



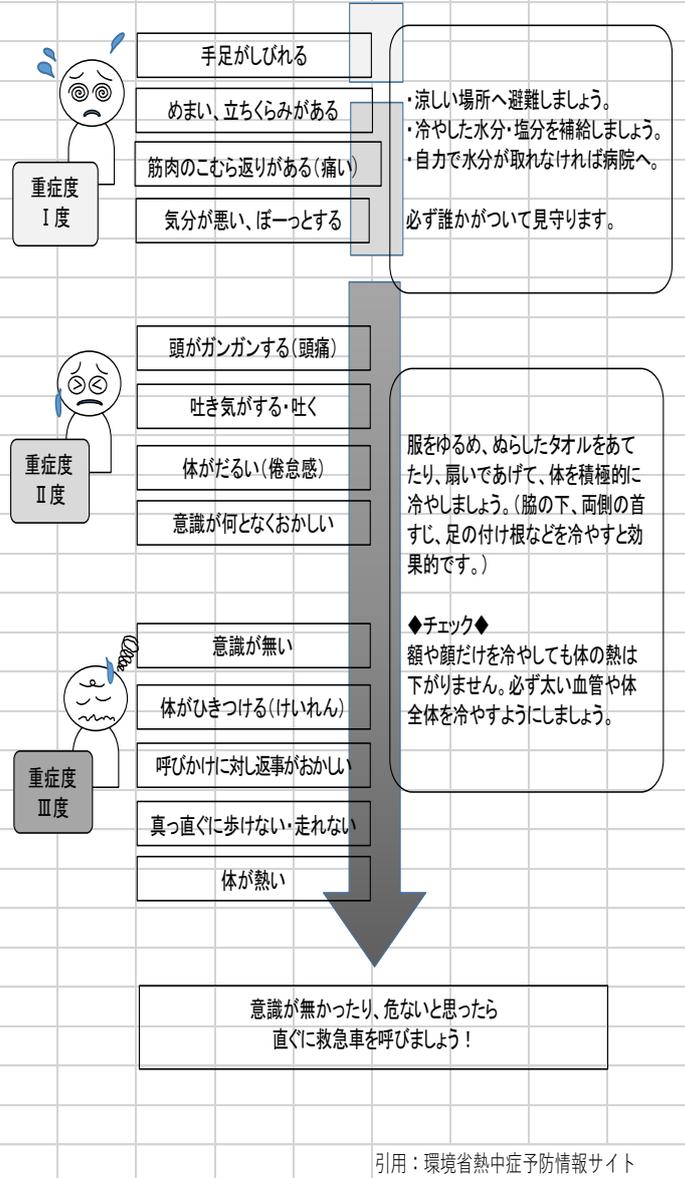
「健康まる竹ふみ」は太い物と細い物 2本で一セットです。体調に合わせて、片足で転がしたり、両足で踏めば、心地よい刺激が味わえます。フローリングや畳に傷がつかないように、タオルや布等を敷いた上で使用して下さい。



◆サニブラウン選手、漂う風格、緊張感のなかNHKのリポーターがウォーミングアップする姿を、ただ静かに見つめていました。100mと200mで2冠、成長と発展をめざした米国挑戦の証明が日本陸上競技選手権大会で表れた◆連日雨天続きの大会に詰めかける観客、力を出し切る選手、東京オリンピック目前に新しい息吹が次々に出ています◆竹林からの新しい息吹、竹の子が竹になり、間伐した竹と入れ替わる。そこには竹取協力隊が竹林の保護に努力し、クラブやその地域の発展を願い活動しています。◆竹林で手軽にできる健康と体力と気力づくり、散策に訪れる市民の目に触れ、支援の輪も広がっています。環境保護活動団体としてのクラブは、一歩リードして来年へ、そして先へと走ります。

熱中症に気を付けましょう

このような症状があれば……



桐蔭横浜大学のサービ斯拉ーニング

本年度秋も2名の学生の参加が決まりました。9月15日(日)から10月27日(月)まで7日間です。若い力との協働で、皆さんと共に竹林保全の意義や日本の原風景の素晴らしさを感じてもらいましょう。

新入会員紹介 下線は竹取協力隊入隊者

◆長田卓博(神奈川県小田原市)

<活動報告>

7月27日 水鉄砲作り 横浜国際プール出前講座
8月10日 カタツムリ作り 横浜国際プール出前講座
8月25日 理事会・通信秋号 NO.79 発行

予定表

※**学校管**：竹の学校「竹林管理コース」 ※**協力隊**：竹取協力隊の定例活動 ※**援農隊**：竹取援農隊の定例活動

※**イベント**：詳細はチラシ又はホームページでご覧下さい。

10月5日(土) 協力隊	小机城址市民の森 竹灯笼作り 10:00~15:00
10月6日(日) 協力隊	小机城址市民の森 竹灯笼作り 10:00~15:00
10月8日(火) 協力隊	こどもの国 竹林の間伐 10:00~15:00
10月10日(木) 協力隊	中井町 竹林の間伐 10:00~15:00
10月12日(土) 協力隊	小机城址市民の森 (要事前申込み) 竹灯笼作り 10:00~15:00
10月13日(日) 協力隊	小机城址市民の森 (要事前申込み) 竹灯笼設置 10:00~15:00
10月19日(土) 協力隊	小机城址市民の森 (要事前申込み) 竹灯笼設置 10:00~15:00
10月20日(日) 協力隊 学校管	小机城址市民の森 (要事前申込み) 竹灯笼設置 10:00~15:00 竹林の間伐 & 竹灯笼設置 10:00~15:00
10月25日(金) 協力隊	小机城址市民の森 まつり前日準備 10:00~15:00
10月26日(土) イベント	小机城址市民の森 (要事前申込み) 第16回竹灯笼まつり 9:00~21:00 (予備日27日)
10月27日(日) 協力隊	小机城址市民の森 10:00~12:00 まつり材片付け (予備日28日)
10月29日(火) 協力隊	こどもの国 竹林の間伐 10:00~15:00
11月3日(日祝) 援農隊	都筑折本 竹林の整備 10:00~15:00
11月9日(土) 協力隊	横浜国際プール 竹林の間伐 10:00~15:00
11月10日(日) 協力隊	小机城址市民の森 竹灯笼集積・割り 10:00~15:00

11月12日(火) 協力隊	こどもの国 竹林の間伐 10:00~15:00
11月14日(木) 協力隊	中井町 竹林の間伐 10:00~15:00
11月16日(土) 協力隊 学校管	小机城址市民の森 10:00~15:00 竹灯笼集積・割り・チップ化处理 竹林の調査・間伐・竹垣改修(竹穂垣)
11月20日(水) 援農隊	都筑折本 竹林の間伐 10:00~15:00
11月23日(土祝) イベント	中井町 (要事前申込み) 竹林の間伐とみかん狩り 10:00~15:00
11月24日(日) 協力隊	小机城址市民の森 竹灯笼割りとチップ化处理 10:00~15:00
11月26日(火) 協力隊	こどもの国 竹林の間伐 10:00~15:00
11月28日(木) 協力隊	中井町 竹林の間伐 10:00~15:00
11月30日(土) 協力隊	伊豆の国市 韭山 竹林の間伐 10:00~15:00
12月1日(日) 協力隊 学校管	小机城址市民の森 10:00~15:00 竹灯笼チップ化と間伐(竹垣材作り)・寒肥 竹林の間伐と冬の施肥 10:00~15:00
12月7日(土) 協力隊	小机城址市民の森 10:00~15:00 竹灯笼チップ化と間伐(竹垣材作り)
12月10日(火) 協力隊	こどもの国 竹林の間伐 10:00~15:00
12月12日(木) 協力隊	中井町 竹林の間伐 10:00~15:00
12月14日(土) 協力隊	横浜国際プール 竹林の間伐(竹垣材)と冬の施肥 10:00~15:00
12月19日(木) 援農隊	都筑折本 竹林の間伐 10:00~15:00